

深刻化するネットいじめ

ネットいじめは今や深刻な社会問題のひとつです。インターネットを使っている人であれば誰でも、ネットいじめの被害者にも加害者にもなる可能性があります。子どもたちがネットいじめに巻き込まれる危険性を減らすためには、その現状と特徴を把握しておくことが重要です。

ネットいじめの現状

SNSや無料通話アプリのグループで悪口を言うといった直接的なものの以外で増えているのが、写真や動画を使ったネットいじめです。スマートフォンで対象の児童生徒を隠し撮りして、その写真・動画をSNS上に投稿したり、無料通話アプリのグループトークに載せたりするのです。

A男いた！



他にも、SNSで特定の児童生徒になりすましたアカウントを作って他の友だちの悪口を書き込む、無料通話アプリの（※）ステータスメッセージの欄に、誰のことかは明記せず、見る人が見ればわかるように悪口を書く、などのネットいじめが発生しています。

※ステータスメッセージとは……

無料通話アプリのプロフィール上で、アカウント名の下に表示されるメッセージ。自己紹介や自分の近況、今の気持ちなどが書かれることが多い。

ネットいじめの3つの特徴

◆発覚しづらい

チャットグループでは、そこに参加しているメンバー以外はやりとりの内容を見ることができませんし、SNSでも自分の投稿を友だち以外には見せないように設定することができます。そうしたサービス上でいじめが行われると、外部から状況を把握するのがとても難しくなります。

◆エスカレートしやすい

インターネット上では匿名で書き込むこともできるため、対面では言えないようなひどいことでも気軽に発言できてしまいます。また、24時間どこからでもいじめが行ってしまうので、知らず知らずいじめがエスカレートしてしまうことがあります。

◆意図せず加害者になってしまうことがある

インターネット上のやりとりでは相手の気持ちを読み取るのが難しく、自分は軽い悪ふざけのつもりだったのに、相手はいじめられていると感じていたというケースがしばしば起きています。



自分や友だちがいじめの被害にあったときや、いじめが疑われる書き込みを見つけたときは、すぐに保護者に相談するよう、子どもたちに注意しておく必要があります。